

【別添】霧ヶ峰西麓における主な地質層序の対比表
霧ヶ峰火山群

地質時代*	四賀メガソーラー準備書: <引用文献>「諏訪の自然誌 地質編」(諏訪の自然誌・地質編編集委員会、1975)による						熊井(1975)、熊井(1982)ほか		地質調査所(1964)		長野県デジタル地質図2015		産総研シームレス地質図(ver.2)			
	地質区分	準備書の区分	凡例	記号	岩相	分布	地質区分	記号	地質区分	記号	地質区分	記号	地質区分	記号		
第四紀 完新世 ～ 後期更新世	第四紀層			a、t	沖積層、崖錘、段丘堆積物などの砂礫層。	河川沿いの台地、扇状地、段丘面などの緩傾斜面から平坦地に広く分布。	段丘堆積物		沖積層、崖錘、段丘堆積物など	a、t	河成～崩壊堆積物、火山山麓扇状地堆積物など	fp、f、d、vdなど	谷底平野・山間盆地・河川・海岸平野堆積物 段丘堆積物 火山岩・火山麓扇状地堆積物など	H_sad Q32-33_std Q1-H_v_af など		
第四紀 中期更新世 ～ 前期更新世後半 (カラブリアン)	新期火山 岩類	霧ヶ峰 火山岩類	霧ヶ峰 第Ⅱ期火山岩類 [KⅡ]	第Ⅱ期上部霧ヶ峰火山岩類		KⅡc ⁻	かんらん石含有角閃石紫蘇輝石普通輝石ガラス質安山岩。	標高1,700m以上から車山山頂部にかけて分布。	(該当なし)	車山溶岩	細密角閃石石英安山岩	KⅡd	安山岩質岩	Q2Va	安山岩・玄武岩質安山岩(溶岩・火砕岩)	Q12_vis_al
				第Ⅱ期中部霧ヶ峰火山岩類		KⅡc	角閃石紫蘇輝石普通輝石ガラス質安山岩。下部層に類似するが流理離構造は顕著ではない。		(該当なし)		ガラス質角閃石安山岩	KⅡd				
				第Ⅱ期下部霧ヶ峰火山岩類		KⅡb	顕著な流理構造を示す紫蘇輝石普通輝石角閃石ガラス質安山岩の溶岩、凝灰角礫岩。	池のくるみ、ジャコッパラなどの緩傾斜面に広範に分布。	池のくるみ角閃石安山岩	IK	角閃石安山岩	KⅡc				
				第Ⅱ期下部霧ヶ峰火山岩類		KⅡa ⁻	発泡のよいスコリア質の角閃石含有紫蘇輝石普通輝石ガラス質安山岩。	塩沢北方のカシガリ山の西や南斜面の広範に分布。	相の倉沢含角閃石安山岩	AI	柏原溶岩	軽石				
		第Ⅱ期下部霧ヶ峰火山岩類		KⅡa	角閃石紫蘇輝石普通輝石安山岩や紫蘇輝石普通輝石角閃石安山岩の溶岩。	角閃石普通輝石安山岩	HoAu		角閃石安山岩	KⅡc						
		第Ⅰ期上部霧ヶ峰火山岩類		KⅠb	紫蘇輝石普通輝石かんらん石安山岩、角閃石含有紫蘇輝石普通輝石安山岩。厚さ数m程度の溶岩が累重し、板状節理や不規則な節理が発達する。	角間川上流東側、北大塩の北方山麓一帯に広範に分布。	福沢山両輝石安山岩 両輝石安山岩	Fu AuHy	米沢溶岩	かんらん石複輝石安山岩、軽石	KⅡb					
		第Ⅰ期下部霧ヶ峰火山岩類		KⅠa ⁻	厚さ約20～30mになる紫蘇輝石普通輝石安山岩質凝灰角礫岩。	角間川東の尾根沿い(福沢山から唐沢山)に広範に分布。				角閃石黒雲母安山岩、角閃石安山岩、かんらん石複輝石安山岩	KⅡa					
		第Ⅰ期下部霧ヶ峰火山岩類		KⅠa	厚さ20～50mになる板状節理が発達した紫蘇輝石普通輝石安山岩の溶岩(鉄平石として採取されている)。							虫倉溶岩				
第四紀 前期更新世前半 (ジェラシアン) ～ 新第三紀 鮮新世	古期火山 岩類	古期火山 碎屑岩類	古期上部 火山碎屑岩類	古期火山碎屑岩類(凝灰角礫岩を主とする)	E n b	成層構造が発達した凝灰角礫岩、凝灰集塊岩、火山礫凝灰岩、砂層・泥層。	角間川上流及び角間川左岸～普門寺の広範に分布。	十五社含かんらん石両輝石安山岩	Ju	凝灰角礫岩	KⅡa	安山岩質岩	Q1Va			
			古期下部 火山碎屑岩類			E n a	火山角礫岩、凝灰角礫岩、溶岩、薄い泥層・砂層。	角間川右岸に広範に分布。	音無川凝灰角礫岩層					Ot		
新第三紀 中新世	基盤岩類	深成岩類	頷家花崗岩類	q D	黒雲母花崗岩・花崗閃緑岩類。	諏訪市四賀～茅野市永明寺山に分布。	花崗岩 (四賀黒雲母花崗岩)	G	第三紀 火成岩類	石英閃緑岩	Qd	深成岩類(中性)	N2Pm	花崗閃緑岩・トーナル岩(塊状 島弧・大陸)	N22_pim_a	

※地質時代は、文献・資料を基に最新の国際年代層序表(2018年7月現在)に基づき記載しています。

八ヶ岳火山列

地質時代*	四賀メガソーラー準備書: <引用文献>「諏訪の自然誌 地質編」(諏訪の自然誌・地質編編集委員会、1975)による						熊井(1975)、熊井(1982)ほか		地質調査所(1964)		長野県デジタル地質図2015		産総研シームレス地質図(ver.2)	
	地質区分	準備書の区分	凡例	記号	岩相	分布	地質区分	記号	地質区分	記号	地質区分	記号	地質区分	記号
第四紀 後期更新世	新八ヶ岳期火山岩類			02	角閃石デイサイト質の角礫岩と火山灰からなる火砕流堆積物や、硫黄臭を有する火山灰質の基地中に縞状軽石、スコリア・ガラス質安山岩・角閃石デイサイト・黒曜岩などの大岩片を多数伴う泥流堆積物の総称。一般に無層理で、一部炭化した木材を多数含む。	上川沿いの段丘面に帯状に分布。	(対象地域に記載なし)		(対象地域に記載なし)		(対象地域に記載なし)		(対象地域に記載なし)	

※地質時代は、文献・資料を基に最新の国際年代層序表(2018年7月現在)に基づき記載しています。